ステレオカセットデッキ

取扱説明書

CT-NS1

Pioneer

この取扱説明書は、ステレオカセットデッキ CT-NS1 の説明書です。安全上のご注意、接続のしかたの一部と仕様のみを記載しています。操作などその他の説明については、コンパクトミニコンポーネント X-NS1 に付属の取扱説明書をお読みください。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。
本機は単独では動作しません。コンパクトミニコンポーネントX-NS1と組み合わせてご使用ください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告[異常時の処理]

プラグを抜け

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

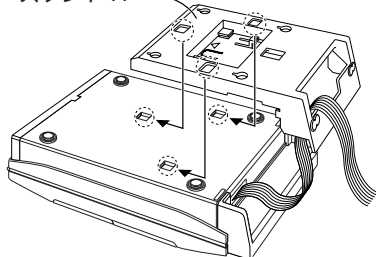
はじめに

- この取扱説明書は、ステレオカセットデッキCT-NS1の説明書です。安全上のご注意、接続のしかたの一部と仕様のみを記載しています。操作などその他の説明については、コンパクトミニコンポーネントX-NS1に付属の取扱説明書をお読みください。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- スピーカーコードやAM/FMアンテナの接続を含め、接続を行う場合は、X-NS1の取扱説明書を併せてご覧ください。
また、各注意事項は必ずお読みください。

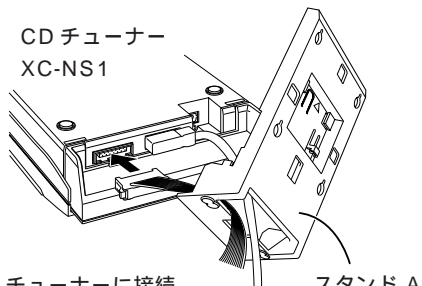
接続のしかた

カセットデッキCT-NS1を、CDチューナーXC-NS1、または、MDレコーダーMJ-NS1やCDレコーダーPDR-NS1などのオプション機器に接続する方法を説明します。

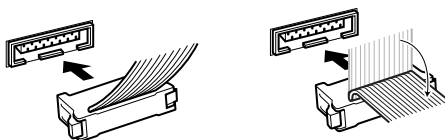
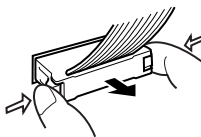
1 カセットデッキの裏側に、スタンドAを取り付けます

カセットデッキの裏側と、スタンドAの"A"と表示されている部分（3ケ所）をそれぞれ合わせてから取り付けます。

▼ 接続用システムケーブルを本体とスタンドAとの間に入れ込むこともできます。（スタンドAは、確実に取り付けてください。）

2 接続用システムケーブルを、CDチューナー（またはオプション機器）に接続します

接続用システムケーブルは、スタンドAを取り付ける前に接続します。この場合、下図のように、あらかじめ接続用システムケーブルをスタンドAに通しておいてください。

CDチューナーに接続するときの例

接続用システムケーブルの注意

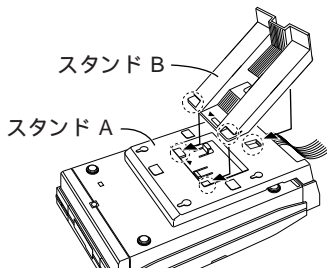
システムケーブルのコネクターを着脱する際は、電源コードを壁のコンセントから、必ずはずしてください。電源コードをコンセントに接続したままコネクターの着脱を行うと、機器が故障する恐れがあります。

差し込みにくい場合は、上右図のようにケーブルの根元を90度に折り曲げると容易に差し込めます。

はずすときは、
両横の突起を押し込みながら引き抜いてください。

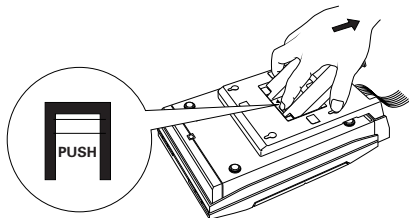
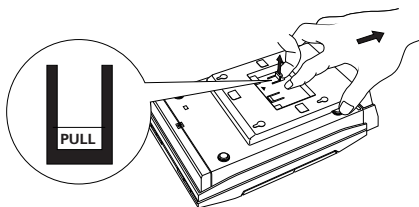
注 意

◆ 電源プラグをコンセントに接続した状態で、システムケーブルを抜き差しすることは、絶対にやめてください。故障の原因となることがあります。

スタンド B を使って縦置きする

スタンド A にスタンド B を取り付けます

スタンド A の矢印を、スタンド B の矢印に合わせて、3 ケ所のフックが入るように取り付けます。

スタンド A、B を取り外す

スタンド B をスタンド A から取り外す場合は、スタンド B の「PUSH」と書かれてある部分を押しながら矢印の方向にスライドさせます。

スタンド A を本体から取り外す場合は、スタンド A の「PULL」と書かれてある部分を持ち上げながら矢印の方向にスライドさせます。

壁に取り付けるには

コンパクトミニコンポーネント X-NS1 に付属の取扱説明書の 9 ページを参照して、CD チューナー同じ手順と注意で壁に取り付けます。

仕様

トラック方式
.... 4 トラック 2 チャンネルステレオ
周波数特性
TYPE I（ノーマル）テープ
.... ＊20Hz～16,000Hz ± 6dB
（－ 20dB 録音時）
TYPE II（HIGH/ クローム）テープ
.... ＊20Hz～16,000Hz ± 6dB
（－ 20dB 録音時）
SN 比 .... ＊56dB
（EIAJ/ ピーク録音レベル、聴感補正）
DOLBY B タイプ NR ON
.... 5kHz で 10dB 改善
ワウフラッター .... 0.07%WRMS(JIS)
外形寸法（スタンドを取り付けていない状態）
.... 170（幅）×268（高さ）×66（奥行）mm
質量 1.5kg

付属品

スタンド A 1
スタンド B 1
保証書 1
取扱説明書（本書）.................................. 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
- ＊印は日本電子機械工業会（EIAJ）規格に定められた測定方法による数値です。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　0070-800-8181-22

● カタログのご請求窓口　0070-800-8181-33

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<00E00ZF0N01>　<ARA7109-A>